

国民年金第3号被保険者該当（遡及）申立書

①第3号被保険者 (申立者)	基礎年金番号		—		
	氏名			生年月日	
	住所				
	職業			収入（年間推計）	
②配偶者	基礎年金番号		—		
	氏名			生年月日	
	住所（別居の場合）			勤務先名称	
③第3号該当年月日	昭和・平成・令和 年 月 日				
④被扶養者となった理由（該当する箇所を○で囲んでください。）	1.婚姻（昭和・平成・令和 年 月 日）				
	2.退職（昭和・平成・令和 年 月 日）*事業所名称（ ）				
	3.給付金の受給終了（失業給付・出産（傷病）手当金）				
	受給期間（ 年 月 日～ 年 月 日 日額_____円）				
	4.収入の減少				
③・④の確認書類の添付	5.その他（ ）				
	有（ 戸籍・退職証明・課税（非課税）証明書・その他_____）／無				
⑤該当年月日から届出日までの扶養の状態 *事業主・民生委員などの第三者の状況確認 ・申立についての確認書類の添付が出来ない場合 ・申立同意について第三者の確認が可能な場合など	●（ 年 月 日～ 年 月 日）の期間については、 届出が遅れましたが（無職無収入・月額収入_____円） であり、事実上配偶者に扶養されていたことを申し立てます。				
	●上記の申立期間において、申立者は配偶者に生計維持されていることについて 状況を確認いたしました。（控除対象配偶者である。）				
	令和 年 月 日 住所 氏名 印				
	ア. 健康保険で扶養家族として認定されていたので、自分で第3号の手続きが 必要ないと誤認していた。				
	イ. 当時パート等として働いていた勤務先で、厚生年金等に加入しているとは知らず、 第3号の資格が継続していると思っていた。				
ウ. 配偶者の転職、退職の際、自分の年金に関する届出が必要であると知らなかつた。					
エ. その他（具体的に記入して下さい。）					

上記のとおり相違ないことを申立てます。

申立（届出）年月日

令和 年 月 日 申立者氏名（第3号被保険者）

日本年金機構理事長 殿

印

*押印は本人が署名（自署）する場合は必要ありません。